

「課題名：輸液製剤調製時における重量監査支援システムの構築」について

○ 研究の意義・目的

患者さんに処方された高カロリー輸液などの混合調製は、私たち薬剤師が責任をもって行っています。この調製において、処方されたお薬を用いて調製された輸液製剤の重量を自動計算するようにし、より安全な輸液製剤を患者さんに提供できるよう試みています。今回、自動計算により算出された重量の正確度を明らかにするため、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

平成 28 年 9 月 1 日から平成 30 年 8 月 31 日までに、広島大学病院薬剤部製剤室にて混合調製した輸液製剤による治療を受けられた患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は、治療を受けられている診療科と治療日、その日に処方されたお薬、そのお薬の用法・用量です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 研究期間 委員会承認後 ～ 平成 32 年 3 月 31 日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5575

広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 新本 唯一（担当者）